

第2学年3組 技術・家庭科学習指導案

場 所 パソコン室
指導者 中島悠也

1 単元名 情報を活用して生活に生かそう (B 情報とコンピュータ)

2 単元の目標

- ・意欲的に情報を収集したり、発信したりすることができる。 (関・意・態)
- ・効果的な情報の発信方法を工夫することができる。 (創意・工夫)
- ・ネットワークを使い情報収集し発信することができる。 (技能)
- ・情報モラルの重要性について理解している。 (知識・理解)

3 単元設定の理由

(1) 生徒観

近年、情報化社会が進み、多くの生徒がコンピュータを使い情報を収集したり、発信したりする姿がみられる。2年3組でもネットワークを活用している生徒が多い。中でもインターネットで様々な情報を収集したり、携帯電話やコンピュータを使って友達同士でメールをしたりブログやプロフなどで情報を発信したりしている生徒も多い。携帯電話については事前にアンケートを実施したところ、18名の生徒が個人で使える携帯電話を、3名の生徒が家族で使える携帯電話を持っていることがわかった。携帯電話をもっていない生徒は9名であった。しかし、単に使用できる、使用したことがある、といったスキルがあるだけで、ネットワーク上でのルール、モラルについての認知度の低さから、様々な問題も起こっている。また、最近テレビなどのメディアでも取り上げられている「チェーンメール」や「個人情報の流出」などの悪いメールや情報などについても認識が足りず、どう対処してよいかわからず悩んでいる生徒もいる。

以上のことから情報化社会の望ましい発展と、そこにかかわる態度について考えていく必要があると考えた。

(2) 題材観

本単元では、コンピュータを用いて体験的な学習活動を通してインターネットや電子メールのしくみを学んでいく。生徒たちは、日頃からコンピュータや携帯電話などの情報端末機に親しんでいるので、興味関心を持つだろう。実際にコンピュータを使ってインターネットで様々な情報を収集することで利便性と可能性に気づくであろう。また、仮想携帯電話のソフトウェアを用いて電子メールをするなどの体験的な学習をすることで情報を伝える手段の特徴と利用方法を知ることができるであろう。以上のことから、上記のふたつは、インターネットや電子メールの基礎、理論を学ばせるには有効的であると考え。そして、それだけにとどまらず、そこで発生する問題点やネットワーク上でのルール、マナーといった情報モラルを身につけさせたい。

(3) 指導観

インターネットを活用する際に、生活に活用できるようにすることを目標にして授業を展開していきたい。そのために、生徒に身の回りの情報を調べることや生活に関連した学習題材を選択することが大切であると考え。2年生の宿泊行事である「山の学習」の行き先のことを調べたり、身の回りの学校を調べたりするなどインターネットを生活に役立つものにしていく中で、インターネットの利便性や可能性を考えさせたい。また、仮想携帯を用いて、情報を伝える手段・特徴・利用方法を知ることが目標にしていく。そして単にスキルを学習するだけではなく、ネットワークや電子メールのしくみなどの基礎的な理論も学習し、さらに有効活用できる力をつけていきたい。

そして、利便性だけにとらわれずに、情報社会の問題点を知り、情報を扱う際のルールやマナーを身に付けさせることを念頭におき、情報モラルについて体系的に学習し、学習内容の定着をはかり、情報社会で正しく生活していく力をつけさせたい。

また、本校の生徒の中にはパソコンや携帯電話などの情報端末機を持っていない生徒もいる。将来、生きていく中で多く生徒がコンピュータに関する機会が多いであろう。持っていないから関係ないということではなくて、基本的な考え方として情報モラルを学ばせることを配慮していきたい。

4 単元計画 (12時間完了)

学習内容	時数
ネットワークのしくみについて調べよう	1
インターネットのしくみと利用について調べよう	1
インターネットで目的の情報を探し出そう	2
インターネットでできることや注意点を調べよう	2
電子メールと情報の発信しよう	1
電子メールを受信して情報を活用しよう	2
情報収集・発信の際のルールとマナーについて考えよう(本時2/2)	2
情報社会とわたしたちの生活を考えよう	1

5 本時の指導 (11/12)

(1) 本時の目標

- ・意欲的に情報を発信する時のルールやマナーを挙げることができる。 (関・意・態)
- ・情報モラルを留意して工夫したプロフづくりに取り組むことができる。 (創意・工夫)
- ・情報を発信する時のマナーについて知ることができる。 (理解)

(2) 準備

- ・生徒 前時までの学習で作成したプロフ
- ・教師 学習プリント 座席票(評価、把握用)
2種類のプロフ(掲示用、配付用)

(3) 展開

評価 キャリア教育で育む力

過程	生徒の活動 予想される生徒の反応	支援・評価
意欲をもつ	1 2種類のプログをみて気づいたことを発表する。 ・本時の内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分達のプログをよくしよう</div>	・教師の用意した2種類のプログを見せ、本時の活動の見通しを持たせる。 ・表現がよい文章「イイ中島」と、表現の悪い文章「ワル中島」の2種類を用意して意欲づけをする。
知る・気づく	2 2種類のプログの気づいた点を話し合い、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">2種類のプログを見て気づいたことを話し合おう</div> ・6つの班に分かれて気づいた点を話し合う。 ・「イイ中島」のプログはとても丁寧に書かれているな。 ・悪口は書いてはいけないと思う。 ・「ワル中島」のほうは他人が見た時によい思いをしないと思う。 ・「イイ中島」にも他の人の名前が書いてあるけどいいのかな。	・個人のコンピュータに関する知識の差があり、意見を言うことのできない生徒がいることが予想されるので班活動を行う。 ・司会と発表者を事前に決めておく。 ・2つのプログを印刷したものを各班に配付して、気づいた点を自由に書き込み発表しやすくする。

知る・気づく	<ul style="list-style-type: none"> 各班の考えを発表する。 	<p>情報を発信する時のルールやマナーを挙げるができる。(関・意・態)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班の考えをホワイトボードに掲示して発表をして他の班の意見を聞く。
深める	<p>4 各班の意見を聞き、情報を発信する時のルールやマナーを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班の発表を聞いて、意見を言い合う中からルールやマナーについて考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 「ワル中島」のブログは文章の表現が悪いためネットに記載されると相手を傷つけてしまうのでやめたほうがいい。 「イイ中島」のブログ文章の表現は丁寧であるが個人情報に記載されているから大丈夫かな。 写真を貼り付けてあるけど、相手の人は知っているのだろうか。 自分のブログにも友達の名前を載せてしまっているな </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人権・プライバシーの保護 (肖像権を含む) 個人情報の保護 著作権の保護</p> </div> <p>5 自分のプロフを見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のプロフについて気づいたことを発表する。 前時まで作成した自分のプロフに上記の項目について大丈夫かを考えて直す。 	<p>情報モラルについての話し合いを行い、自分の意見を述べたり仲間の意見を認めたりして、自分の考えを深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師が教え込むのではなく、各班の意見が同じであったり、食い違ったりしているところを見つけ、そこからルールやマナーについて見つけられるように支援する。 話し合いが終わったら、教師が補足説明をする。 その他にも文章を載せてしまうと著作権にあたること 携帯電話やパソコンなどで何気ない気持ちでブログを利用していても、知らないところで他人を傷つけてしまったり法律に違反してしまったりしているかもしれないということを押さえておく。 <p>情報モラルを留意して工夫したプロフづくりに取り組むことができる。 (創意・工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間支援をして、理解していない生徒への対応をする。 参考になる作品を見せ、他の生徒の意欲を喚起したり、アイデアがまとまらない生徒へアドバイスしたりする。
振り返る	<p>6 学習プリントを使って本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のプロフに新たに学んだことを取り入れる。 情報モラルについて自分の意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだルールやマナー、情報モラルについてプリントに記入させる。情報を発信する時のマナーについて知ることができる。(理解)

(4) 評価の方法

- ねらいを学習プリントの記述内容やグループでの話し合いの様子から評価する。

高 評